

病児保育施設向け インシデント管理ソフトmimsのご紹介 (マイムス)



株式会社管理工学研究所
ビジネスソリューション事業部
医療福祉システム部



目次

- mims(マイムス)とは
- mimsで何をするのか
- インシデント管理の基礎
- mimsを使ってみる
- mimsと保育日誌

mims(マイムス)とは

◆病児保育業務

インシデント(ヒヤリ・ハット, 事故)が起きやすい

◆インシデント発生を防ぐための武器

- (1) 保育士・看護師・医師の方々のご尽力
- (2) ハインリッヒの法則
- (3) リスク管理の技術
- (4) 他施設の事例研究
- (5) 行政等の支援・理解



mimsで何をするのか

- ◆ 好ましくない出来事が発生した(しそうな)状況(*)を
 - ◆ 記録
 - ◆ 要因分析(原因究明)
 - ◆ 対策
 - ◆ 立案支援&実施確認
- ◆ 統計分析

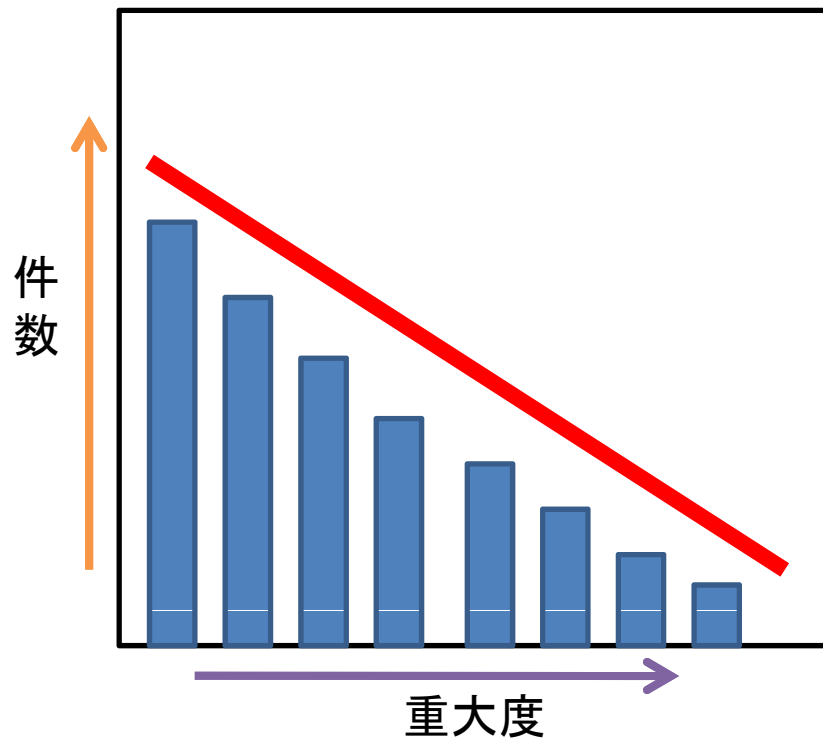


(同系統の)「好ましくない出来事の発生防止」を支援

(*) インシデント, ヒヤリ・ハットと呼びます。

インシデント管理の基礎(1) ハインリッヒの法則

1:29:300の法則



インシデント管理の基礎(2)

300のヒヤリ・ハット→重大事故防止へ

- 300のヒヤリ・ハットの幾つかの発生を防止することで、29の軽事故、1つの重大事故を防止できる(可能性が高い)。

インシデント管理の基礎(3)

リスク管理の技術

- インシデントが発生時の検討ポイント
- 管理体制・規則, 防止施策, チェック体制
 - 有・無
 - 明文化, マニュアル化
 - 周知
 - 訓練・練習
 - (定期的な)見直し

mimsを使ってみる

- 手順

1. インシデントの内容記録

1. インシデントの内容を整理して, 記録します。

2. インシデントの要因分析

1. 記事内容から該当のインシデント種別を選びます。

2. 原因リストから該当する要因をチェックします。

3. インシデントの要因確認

1. 集計表とグラフからインシデントの原因を確認します。

4. インシデントの対策立案・実施確認

1. 原因リストから対策を立案・記録します。

2. 対策を実施・記録します。

シーン1. (朝の預かり風景、診察)



- 基本情報の確認（利用申込書の記載にあたりアトピー体質の確認）。
- 診察時にも確認、食事箋（小麦禁）の指示。



シーン2. (食事箋の確認と献立の準備)

- 医師からの食事箋（小麦禁の指示）を確認。
- 献立を準備、小麦禁の病児には米食を用意。病児の名前、小麦禁の認識ラベルを添付。

小麦禁の子
は、米飯で。



小麦×

シーン3. (昼食時インシデント発生直前)

- 配膳係の保育士が、入室・配膳時に、高い室温に気付く。
- 換気の際に外の景色に見とれて、配膳時の確認を怠った。



お部屋が暑いので、換気をしましょうか。



いい景色ね～

シーン4. (インシデント発生)

- 小麦禁の病児にうどんを配膳した (配膳ミス)。
- 病児自身が異常に気付き指摘したため、事故 (誤食) は危うく回避された。



シーン5. (報告と謝罪)



- 保育士から医師へインシデントを報告。
- お迎えの際に保護者へ報告と謝罪、大事に至らず保護者からクレームはなかった



(1) インシデントの内容を記録します

インシデント内容は発生日時・報告者・当事者・対象者・状況を登録します。

The screenshot shows a web-based incident report form titled "インシデントレポート - 新規". The form includes sections for "レポート情報", "日付", "報告者情報", "当事者情報", "インシデント対象情報", and "インシデントの状況".

Callout 1 (blue speech bubble): "当事者, 対象者はマスターから選択して入力できます。" (Parties and targets can be entered by selecting from the master.)

Callout 2 (blue speech bubble): "記事入力は入力支援画面から入力します。" (Article entry is done from the input support screen.)

氏名	イニシャル	年齢	性別	病名
たかゆき	J	5歳	男	感冒
こゆき	U	5歳	女	感冒

インシデントの状況 (自由記述、状況がわかるようになるべく詳しく)

記事入力 (記事入力ボタンをクリックして、記事登録画面から記事を入力してください。)

起 当園ではアレルギー疾患(喘息、アトピー性皮膚炎)を基礎疾患に持つお子様をお預かりする時には、事前の個人診

承 往が確認されていました。アレルギー検査の結果もアレルギー反応を示さず、アレルギー反応を抑制する薬(アレルギー抑制剤)を服用していただきました。

転 保育士は部屋の換気を行い、窓の開放に努め、アレルギー反応を抑えるため配膳した。給食を食べていた時、普段からうどんを

結 病児Uはインシデント発覚後、戸惑っているように見えたが、母親が迎えに来た際、元気に飛んでいた。病児Uの母親が迎えに来た際、保育士が状況を説明し謝罪、院長も改めて謝罪した。病児Uの母親は、誤食がなかった事で怒る様子はなく帰宅した。

インシデントレポートを入力します。ツール「影響レベル」にて要因解析を参照・入力することができます。

インシデント内容

- ・発生日時
- ・報告者
- ・当事者
- ・対象者
- ・インシデントの状況
 - 1.管理体制・規則
防止施策・チェック体制
 - 2.発生前(後)の状況
 - 3.発生・発覚した内容, 背景
 - 4.影響と対策(接遇)

(1-1) インシデントに関する管理体制, 規則, 防止施策

インシデント記事登録

発生前後の状況 発生・発覚 影響と対策 **業務の管理・施策** 確認

■「インシデントに関する業務の管理・施策」 インシデント記事 (4/5)

📄 インシデントに関する項目の管理体制、管理規則

当園ではアレルギー体質や気管支喘息、アトピー性皮膚炎を基礎疾患に持つお子様をお預かりする時には、事前の個人記録と医師の指示書を通じて食物アレルギーの有無、アレルゲンの確認を行っている。

📄 インシデントの内容に関わる防止施策、チェック体制

アレルギー食には認識ラベルを添付、配膳ミス防止に努めている。

ヘルプ 戻る 次へ キャンセル

管理体制, 管理規則 防止施策, チェック体制

- ・有無
- ・マニュアル化
- ・周知
- ・訓練/練習
- ・見直し(体制・規則・マニュアル)

(1-2) インシデント発生前(後)の状況

msn インシデント記事登録

発生前後の状況 | 発生・発覚 | 影響と対策 | 業務の管理・施策 | 確認

■「インシデント発生前後の状況」 インシデント記事 (1 / 5)

インシデント発生前のお預かりした病児の名前、元気の状態、状況、疾病

本日は病児A、病児Uの入室で、病児Uには小麦アレルギーの既往が確認されていました。

インシデント発生前のインシデントに関する保育士、看護師、施設長の活動、動き、発言

病児Uの小麦アレルギーは、院長から食事の指示書を含め事前調査でも判明していたため、認識ラベルを付けた給食(米食)が準備されていた。

その他インシデント発生後の状況(必要があれば)

(1-3) インシデントの背景, 発生発覚の経過

msm インシデント記事登録

発生前後の状況 発生・発覚 影響と対策 業務の管理・施策 確認

■「インシデント発生・発覚」 インシデント記事 (2/5)

📄 インシデントに至った背景、インシデント発生・発覚までの経時的な経過内容

保育士Iは部屋の換気を行うために窓を開け、外の風景に見とれながら配膳した。給食を食べようとした時、普段からうどんを食べない病児U自らが除去食でない事を指摘し、配膳ミスが発覚した。

📄 インシデントの重大性を推測できる内容。当事者としてどのように感じたか、考えたか。

誤食は免れたものの、保育士Iは情けない気持ちでいっぱいであった。その後すぐに状況を医師に報告した。

ヘルプ 戻る 次へ キャンセル

(1-4) インシデントの影響と対策

インシデント記事登録

発生前後の状況 発生・発覚 **影響と対策** 業務の管理・施策 確認

■「インシデントの影響と対策」 インシデント記事 (3/5)

インシデント発生後の病児の状態

病児Uは、インシデント発覚時、戸惑っているように見えたが、母親が迎えに来た際、元気に飛んでいった。

インシデント発生後に起こったこと。保護者への報告。

病児Uの母親が迎えに来た際、保育士が状況を説明し謝罪、院長も改めて謝罪した。

インシデント発生(報告)後の保護者の対応

病児Uの母親は、誤食が無かったことで感情的な対応になることなく、帰宅された。

ヘルプ 戻る 次へ キャンセル

(1-5) インシデントの記事

インシデント記事登録

発生前後の状況 発生・発覚 影響と対策 業務の管理・施策 確認

■「インシデントの内容を確認」 インシデント記事 (5/5)

起	当園ではアレルギー体質や気管支喘息、アトピー性皮膚炎を基礎疾患に持つお子様をお預かりする時には、事前の個人記録と医師の指示書を通じて食物アレルギーの有無、アレルギー対応食には認識ラベルを添付、配膳ミス防止に努めている。	管理体制・管理規則 防止施策・チェック体制
承	本日は病児J(たかゆき君)と、病児U(こゆきちゃん)の入室で、病児Uには小麦アレルギーの既往が確認されていました。病児Uの小麦アレルギーは院長から食事の指示書を含め事前調査でも判明し(米食)が準備されていた。	インシデント発生前の状況
転	保育士1は部屋の換気を行うために窓を開け、外の風景に見とれながら配膳した。給食を食べようとした時、普段からうどんを食べない病児U自らが除去食でないことを指摘し、配膳ミスが発覚した。誤食は免れたものの、保育士は情けない気持ちでいっぱいであった。その後すぐ	インシデントの内容・背景
結	病児Uはインシデント発覚後、戸惑っているように見えたが、母親が迎えに来た際、元気に飛んでいった。病児Uの母親が迎えに来た際、保育士が状況を説明し謝罪、院長も改めて謝罪した。病児Uの母親は、誤食がなかった事で怒る様子はなく帰宅した。	インシデントの影響・対策 待遇

ヘルプ 戻る 完了 キャンセル

(2-1)記事からインシデント種別を選び要因解析します

影響レベル集計表

閉じる(C) 要因解析(E) 対策(M)

インシデントの状況

起 当園ではアレルギー体質や気管支喘息、アトピー性皮膚炎を基礎疾患に持つお子様をお預かりする時には食物アレルギーの有無、アレルギーの確認を行っています。食事には認識ラベルを添付、配膳ミス防止に努めています。

承 本日は病児J(たかゆき君)と、病児U(こゆきちゃん)の入室で、病児Uには小麦アレルギーの既往が確認され、病児Uの小麦アレルギーは院長から食事の指示書を含め事前調査でも判明していたため、認識ラベルを付した給食を配膳しました。

転 保育士1は部屋の換気を行うために窓を開け、外の風景に見とれながら配膳した。給食を配膳する時、食でないことを指摘し、配膳ミスが発覚した。誤食は免れたものの、保育士は情けない気持ちでいっぱいであった。その後すぐに状況を確認し、病児Uはインシデント発覚後、戸惑っているように見えたが、母親が迎えに来た際、元気に飛んでいた。

結 病児Uの母親が迎えに来た際、保育士が状況を説明し謝罪、院長も改めて謝罪した。病児Uの母親は、誤食がなかった事で怒る様子はなく帰宅した。

インシデント種別	S(ソフト)	H(ハード)	E(保育環境)	L1(保育当...
与薬に関するインシデント				
転落・転倒に関するインシデント				
その他の外傷に関するインシデント				
感染に関するインシデント				
重症化に関するインシデント				
食事に関するインシデント				130
忘れ物に関するインシデント				

・関連するインシデント種別を選びます。

① インシデントの種別を選択し、ツール「要因解析」にて要因解析を参照・入力できます。

インシデント種別

- ・与薬
- ・転落・転倒
- ・その他の外傷
- ・感染
- ・重症化
- ・食事
- ・忘れ物
- ・接遇

(2-2) 該当する要因にチェックを入れます

インシデントを、与薬、転落・転倒、その他の外傷、感染、重傷化、食事、忘れ物、接遇の8項目に分け、それぞれの項目の中で「要因」をSHELモデルに基づいてカテゴリー分類化し、その中で考え得る要因の詳細と影響レベルを設定します。

インシデント種別	略	カテゴリー
食事に関するインシデント	S	無形要因
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 誤配膳 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 3b 食膳、食事箋の未確認 <input checked="" type="checkbox"/> 3b 子供と弁当の誤認 <input type="checkbox"/> 3b ネームプレート等の入れ替わり <input type="checkbox"/> 3a 食事箋の未記入、忘れ 	H	有形要因
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 制限すべき食事を食べた <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 5 重度病児への飲食中の除去すべき食材の使用 <input type="checkbox"/> 4b 受け入れ時にアレルギーの確認がなされていない(親に対して事前) <input checked="" type="checkbox"/> 4b 事前調査で確認したにも関わらず制限せず <input type="checkbox"/> 4b 軽度～中度病児への飲食中の除去すべき食材の使用 <input type="checkbox"/> 4b スタッフによる投与過誤 <input type="checkbox"/> 4b 初めての食材 	E	環境
	L1	保育当事者
	L2	病児・保護者

該当する項目にチェックを入れます。

(3-1)実際のインシデント解析

影響レベル	傷害の継続性	傷害の程度	説明	補足
レベル0			エラーや不具合が患者に及ぼさなかった	
レベル1	なし	実害なし	影響を及ぼした可能性はあるが、実害はない	
レベル2	一過性	軽度	バイタルサインの軽度変化程度で、観察や検査を行ったが処置や治療は行わなかった	個々のスタッフの業務遂行に支障をきたす事象
レベル3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、縫合、投薬)	施設の日常業務遂行に支障をきたす事象
レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した(人工呼吸器、手術、外来からの入院、入院延長、骨折)	
レベル4a	永続的	軽度～中等度	有意でない傷害や後遺症が残った	施設の安全かつ確実な運営に支障をきたす事象
レベル4b	永続的	中等度～高度	有意な傷害や美容上の問題を伴う	
レベル5	死亡	死亡	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)	施設の存続を揺るがす事象

(4)インシデント対策立案・実施確認

- ・ 対策は、複数の要因や複数のインシデントに関連します。
- ・ 要因や対策の関連付けを分かりやすく表示し、対策実施の確認が容易です。

閉じる(C) 保存(S) 追加(N) 削除(D) 全表示(A) レベル図(E) チェック解除(L) 要因(F) 対策(M) 分割(P)

要因 状況

保育当事者

誤配膳

<input type="checkbox"/>	3b	食膳、食事箋の未確認
<input type="checkbox"/>	3b	子供と弁当の誤認

制限すべき食事を食べた

<input checked="" type="checkbox"/>	4b	事前調査で確認したにも関わらず制限せず
-------------------------------------	----	---------------------

要因

対策(新規1) 対策(新規2)

対策(M)

最高要因レベル 4b 実施期限日 2011年 7月31日

事前調査の結果で留意すべき点(小麦禁)がある場合は、保育室内の目立つ場所(壁)に、「小麦禁」のプレートを掛けていつでも目に入るようにしておく。

対策

(5)インシデント報告書

(1 / 1)

食事に関するインシデント 	No.	5	発生日時	2011年 7月 21日 10:30
	報告者	T.K.	報告日	2011年 7月 21日
	当事者	職種	経験年数	職場経験
	T.K.	医師	11年4ヶ月	11年4ヶ月
	病児	年齢	性別	病名
	J	5歳	男	感冒
	U	5歳	女	感冒

◆ インシデントの状況

当園ではアレルギー体質や気管支喘息、アトピー性皮膚炎を基礎疾患に持つお子様をお預かりする時には、事前の個人記録と医師の指示書を通じて食物アレルギーの有無、アレルゲンの確認を行っています。食事には認識ラベルを添付、配膳ミス防止に努めている。

本日は病児J（たかゆき君）と、病児U（こゆきちゃん）の入室で、病児Uには小麦アレルギーの既往が確認されていました。

病児Uの小麦アレルギーは院長から食事の指示書を含め事前調査でも判明していたため、認識ラベルを付けた給食（米食）が準備されていた。

保育士1は部屋の換気を行うために窓を開け、外の風景に見とれながら配膳した。給食を食べようとした時、普段からうどんを食べない病児U自らが除去食でないことを指摘し、配膳ミスが発覚した。

誤食は免れたものの、保育士は情けない気持ちでいっぱいであった。その後すぐに状況を医師に報告した。

病児Uはインシデント発覚後、戸惑っているように見えたが、母親が迎えに来た際、元気に飛んでいった。

病児Uの母親が迎えに来た際、保育士が状況を説明し謝罪、院長も改めて謝罪した。

病児Uの母親は、誤食がなかった事で怒る様子はなく帰宅した。

◆ 対策

対策No. : 7 対応要因数 : 1 最高要因レベル : 4b 実施期限日 : 2011年 7月 31日

事前調査の結果で留意すべき点（小麦禁）がある場合は、保育室内の目立つ場所（壁）に、「小麦禁」のプレートを掛けていつでも目に入るようにしておく。

対策No. : 8 対応要因数 : 2 最高要因レベル : 3b 実施期限日 : 2011年 7月 31日

配膳前には、必ず指差し確認で声に出しながら、認識ラベルと病児を付き合わせる。配膳後にはチェックシートを利用して配膳の完了を確認する。

◆ 要因

食事に関するインシデント（保育当事者）

誤配膳

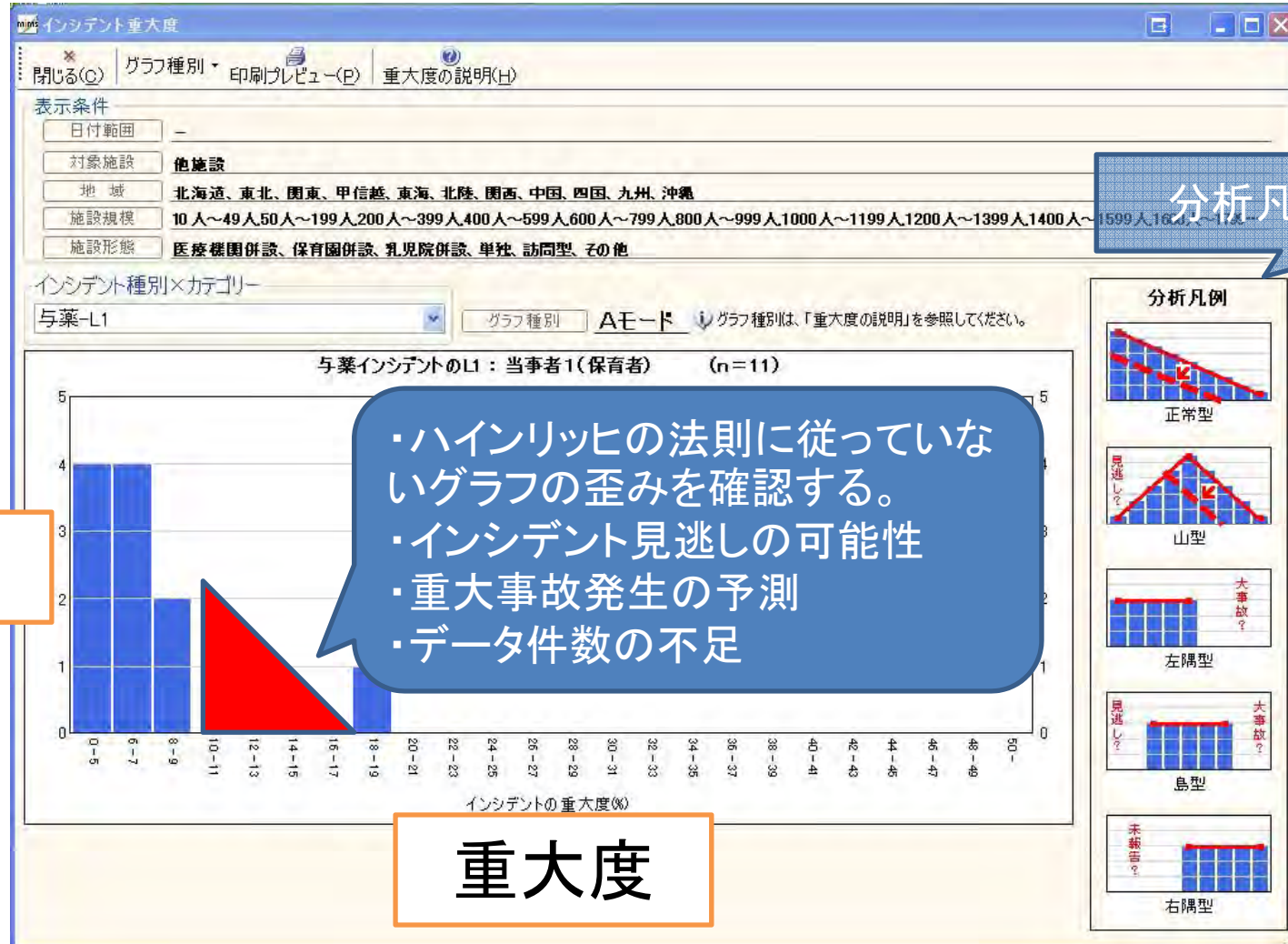
3b 食膳、食事箋の未確認

3b 子供と弁当の誤認

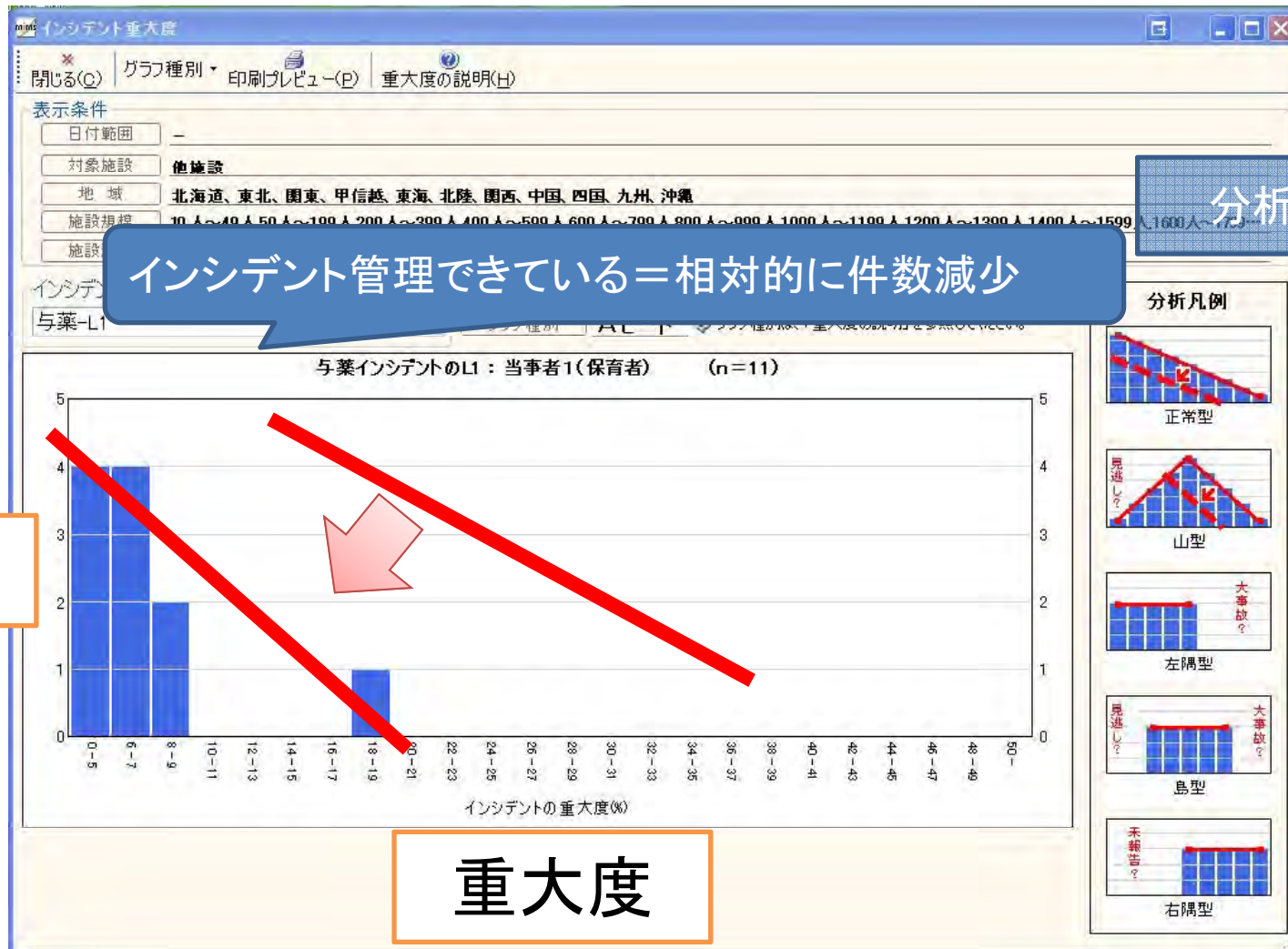
制限すべき食事を食べた

4b 事前調査で確認したにも関わらず制限せず

(5-1)統計分析します



(5-2)統計分析します



分析凡例

インシデント管理できている＝相対的に件数減少

件数

重大度

mimsと保育日誌

保育日誌システム

閉じる(C) 受付 受付取消し 診察 申込書 印刷 インシデント 検温・元気 食欲・水分 容態 与薬処置 入退室時間 更新(R) ロック(F12)

2010年 9月30日 昨日 明日

状態表示

睡眠 元気 排便・排尿 咳・鼻水
食欲・水分 嘔吐 概況・与薬

病名 プール熱の疑い
指示 多目の水分補給, 38.5°C以上あるときは坐薬を使用する...
水分 300 ml
アレルギー

氏名	年齢	検温(°C)	水分...	排尿/排便
鈴木 大翔	7歳 6ヶ月	36.9(16:30)	410	3/2
加藤 悠真【未】	4歳 8ヶ月	37.5(16:30)		0/0
大石 結月【未】	5歳 2ヶ月	39.2(16:30)	120	0/0
高橋 大和大和和...	6歳 8ヶ月	38.3(16:30)		0/0
テスト 一喝【未】				0/0
樋口 凜【未】	3歳 4ヶ月			0/0

バイタルサイン、病状をビジュアルに記録・表示、一目で直感的に把握が可能。

検温

睡眠

元気

食欲

水分

お子様の容態

熱は高めでしたが、比較的元気もよく、飛び跳ねて遊んでいました。お昼頃に、38.5°Cを越...

時間	回診内容	回診者
14:15	容態は安定していて 著変なし	保母 花子
16:00	坐薬を入れたので、熱も引きました。熱が引いたら、さらに激しく...	看護 はな

時間 与薬

12:00 座薬挿入

保育士 保母 花子

mims(マイムス)とは

- ◆ インシデント発生を防ぐための道具
 - ハイน์リッヒの法則
 - リスク管理の技術
 - 他施設の事例研究



ありがとうございました

- 最後まで、ご静聴ありがとうございました。
- ご質問、お問い合わせをお受けします。



より安全で質の高いサービスのために

インシデント管理システムの導入により、リスク管理の標準化、
インシデントの予防、職員への意識付けができます。
他の病児保育施設のインシデント事例を学習できます。